

ワイドとくしま

平井水大師周辺

(阿波市土成町)

ますかど散歩



■ □ 36



土御門上皇の行宮跡とされる広場。公園に整備され、親子連れの憩いの場になっている

四国霊場の7番札所・十楽寺、8番札所・熊谷寺、9番札所・法輪寺の3カ寺を持つ阿波市土成町。弘法大師伝説はもろん、鎌倉期の承久の乱(1221年)に敗れ、阿波に配流された土御門上皇(1196~1231年)ゆかりの場所も各地に残る歴史ロマンあふれる町だ。

町中心部は田畑が広がるのどかな田園地帯。鈴の音を響かせながらお遍路さんが行き交う。「弘法大師にまつわるちよつと不思議な話があるんですよ」。住民グループ「となり街づくり・いん会」代表の鉄谷俊男さん(62)＝同町吉田＝の案内で「平井水大師」に向いた。

空海伝説が残る井戸



弘法大師伝説が伝わる平井水大師。今もつるべで水をくめる＝阿波市土成町吉田

水大師は土成中学校北にある小さな庵。不動明王像の脇にある井戸は、水が不便だった同所に立ち寄った弘法大師がつえで地面を掘り、水を噴き出させたという伝説が残る。以降井戸は枯れたことがないときれ、今も水をくむことができる。

北へ10分ほど歩くと、同町出身の三木武夫元首相の菩提寺の神宮寺が見える。ボタン寺としても有名で、春には色とりどりの150種が咲き誇る。

歴史ファンなら、土御門上皇ゆかりの場所を訪ね歩くのもいいだろう。「御所屋敷」の地名が残る同町吉田は、上皇の行宮(旅先などで造営した仮の宮)があった地。行宮跡とされる場所は、かつては神社があったが、今は公園に整備され、親子連れらの憩いの場となっている。

(阿波支局・久次米美実) 毎週火曜日に掲載



カップルで食べてほしい樽平の「恋成たらいうどん」(奥)。サイドメニューのサワガニ(手前左)、シンソク(手前右)の空揚げも人気

近くの「新四国88カ所」にも足を延ばしたい。札所巡りを模して山あいには造られた88体の石仏の並ぶ小道からは、遠く眉山や吉野川の眺望が楽しめる。「気候がよければ、ゆったりと回る大川原高原の風車も見え、すがすがしい気分になれますよ」。知る人ぞ知る隠れた絶景スポットだ。

歴史ファンなら、土御門上皇ゆかりの場所を訪ね歩くのもいいだろう。「御所屋敷」の地名が残る同町吉田は、上皇の行宮(旅先などで造営した仮の宮)があった地。行宮跡とされる場所は、かつては神社があったが、今は公園に整備され、親子連れらの憩いの場となっている。

「土成を恋人たちの聖地に」というプロジェクトに取り組んでいるのが、十楽寺とたらいうどん店生店。「運命の赤い糸」に見立てピンクに染めた麺が入った「恋成たらいうどん」を食べた後、十楽寺で縁結びの仏・愛染明王にお参りするというデートプランを、昨冬から県内外の大学生らとともに提案している。

たらいうどん店・樽平では、恋成うどんのほか、サワガニや川魚・シンソクの空揚げなど昔ながらのメニューも人気。ぜひカップルで訪れてほしい。

◆ 平井水大師は土成インターチェンジから車で3分。神宮寺(電話088(695)2215)、十楽寺(電話088(695)2150)、樽平(電話088(695)4388)。